

## お使いになる前に

### ■十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。保管期間により電池容量が減っている場合がありますので、お使いいただく前に十分に充電してください。(詳しくは「ソーラー充電について」をご覧ください)

### ●充電切れ予告

二次電池の容量が少なくなると、秒針が2秒連針を行ない、充電不足をお知らせします。

※詳しくは「ソーラー充電について」の「充電切れ予告」をご覧ください。



### ■パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに本機を放置すると自動的に針の動きを停止してスリープ状態にし、節電する機能です。

文字板に光をあてるかボタン操作をすることでスリープ状態は解除されます。

※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が停止することがあります。

#### 〈参考〉スリープ状態になるには

##### ●スリープレベル 1

午後 10 時～午前 6 時の間、暗いところで本機を約 1 時間放置します。

- 秒針がその場で停止します。

※時計、時計 (24 時間制)、分針、日付表示は連針を継続します。

※アラームの報音は行ないます。

##### ●スリープレベル 2

スリープレベル 1 のまま暗いところで 6～7 日間経過します。

- 時計、時計 (24 時間制)、分針はその場で停止します。

- 自動受信は行ないません。

- アラームの報音は行ないません。

※日付表示は連針を継続します。

※時計機能は正常に作動しています。

## 操作のしくみと表示の見方

※機種により形状や文字板の印刷内容が異なります。

• ストップウォッチモードへの切替えはⒹボタンで行ないます。

### 時刻モード

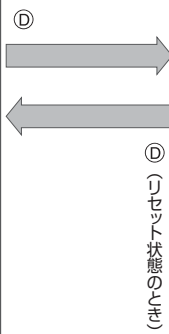
インジケーター針  
 時計  
 分針  
 秒針  
 日付  
 (A) ボタン  
 (B) ボタン  
 (C) ボタン  
 (D) ボタン  
 時計 (24時間制)  
 曜日針

電波受信については「電波時計について」参照

### ストップウォッチモード

(B) スタート・ストップ  
 (D) リセット  
 分針  
 秒針  
 1/20秒針 (最初の1分間だけ動きます)

※「時刻モードで (B) ボタンを押して、すぐに計測を始める方法」もあります。



### 時刻モード

### タイドグラフモード

タイドグラフ

### アラームモード

### ワールドタイムモード

都市コード

(C) ↑ (C) ↓ (C) ← (C) →

• ストップウォッチモード以外のモードへの切替えはⒸボタンで行ないます。Ⓒボタンを押すごとに、左の図のようにモードが切り替わります。

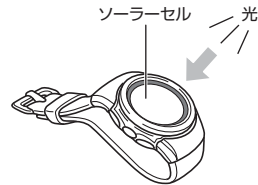
※ワールドタイムモードとアラームモードでは、モード切替後、約 1.5 秒経ってから針が動き出して、そのモードの時刻を指し示します。針が動いている間は、ボタンを押しても機能が働きません。「タイドグラフモードから時刻モードに切替える」ときなどは、ワールドタイムモードやアラームモードで針が動き出す前にⒸボタンを押して次のモードに切替えるか、針が止まって各モードの時刻を指し示した後にⒸボタンを押して次のモードに切替えてください。

※アラームモードで 2～3 分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

## ソーラー充電について

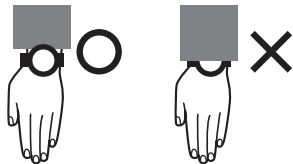
本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。  
安定した状態でお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

●腕から外したときは文字板（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

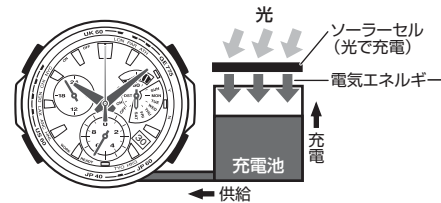
●腕に付けているときはなるべく衣類の袖が文字板（ソーラーセル）にかからないように使用してください。



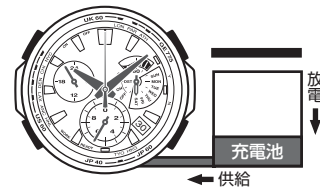
一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

### ●光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは充電電池の容量が減って機能が使えなくなります。

### ●充電切れ予告

二次電池の容量が少なくなると、秒針が2秒運針を行ない、充電不足をお知らせします。

※時計機能停止状態になっても再度充電を行なうと使用できます。

※時計機能停止状態から充電したときは、十分に充電されると針が現在時刻の位置まで移動します。

※通常状態になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

### ●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようご注意ください。

### ●充電の目安

●1日、安定した状態で時計を使用するために必要な充電時間

※1日当たり電波受信を6分間、アラームを10秒間行なった場合。

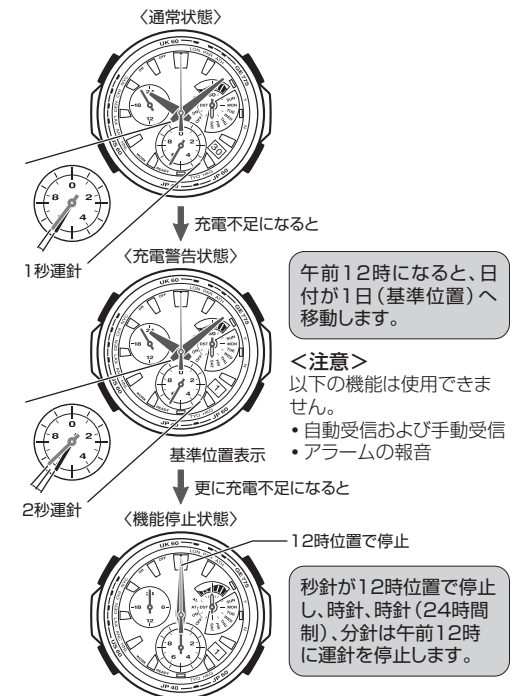
環境 (照度)	充電時間
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約8分
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約30分
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約48分
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約8時間

※こまめに充電を行なえば、安定した状態でご使用いただけます。

●各レベルに回復するための充電時間

環境 (照度)	充電時間	
	運針開始まで	フル充電まで
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約1時間	約20時間
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約2時間	約76時間
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約4時間	---
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約37時間	---

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。



## 電波時計について

### 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

### 標準電波

- 日本の標準電波(JJY)は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所(40kHz)」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所(60kHz)」から送信されています。
  - アメリカの標準電波(WWVB)はNational Institute of Standards and Technology(NIST)が運用しており、コロラド州にあるフォートコリンスから送信されています。
  - イギリスの標準電波(MSF)はNational Physical Laboratory(NPL)が運用しており、イングランド北部のアンソーンから送信されています。
  - ドイツの標準電波(DCF77)はPhysikalisch-Technische Bundesanstalt(PTB)が運用しており、フランクフルト南東に位置するマインフリンゲンから送信されています。
- ※標準電波や送信所に関する情報は、変更になる場合があります。

日本の正確な時刻情報をのせた標準電波は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループが運用しております。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることがあります。詳しい情報は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページをご覧ください。

<http://jjy.nict.go.jp>

※ホームページのアドレスは変更になる場合があります。

### 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると、その都市に対応した標準電波を受信します。

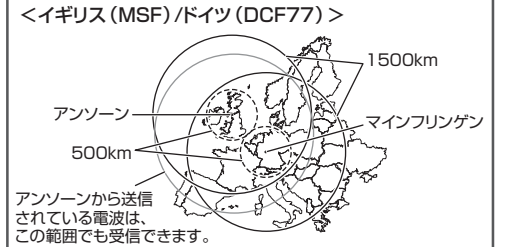
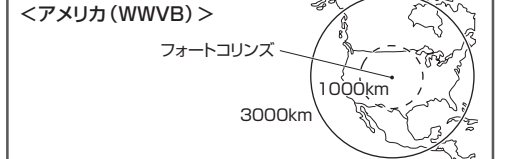
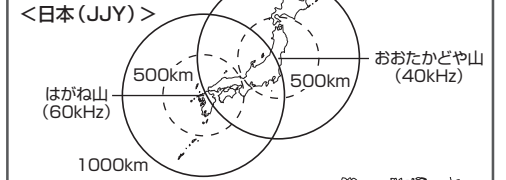
\* ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ(時刻・カレンダーなど)の合わせ方」参照。都市コードについては「都市コード一覧表」参照。

ホームタイム都市 (受信機能対応都市)	受信電波
TYO, HKG	日本の標準電波(JJY)
HNL, ANC, LAX, DEN, CHI, NYC	アメリカの標準電波(WWVB)
LON, PAR, ATH	イギリスの標準電波(MSF)、ドイツの標準電波(DCF77)

※HKG, HNL, ANCの各都市は、受信機能対応都市としております。条件が良ければ受信する場合があります。

- 受信環境により、図の範囲内でも電波を受信できない場合があります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、受信環境の影響はより大きくなります。※受信に影響を与える環境・・・地形、建物、天気、季節、時間帯(昼、夜)、各種ノイズ

#### 送信所の位置

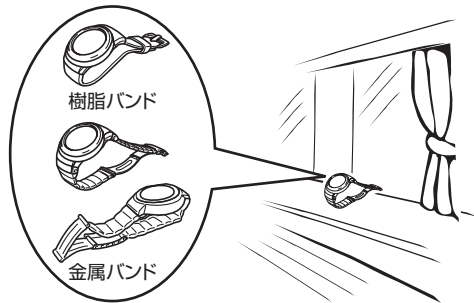


### 受信時間について

受信時間はおおよそ2~7分です。  
※ただし、周波数を変えて再受信するため、最大14分かかる場合があります。

### 電波受信を行なうときの場所について

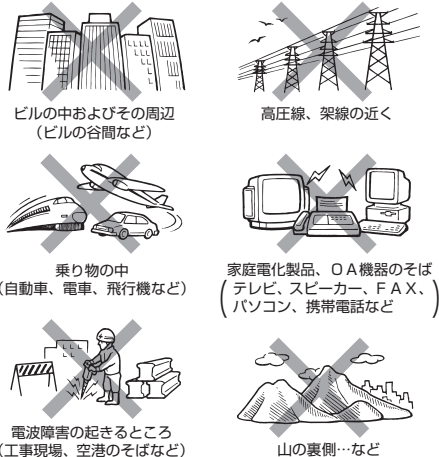
本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部(12時位置のアンテナ)を外に向けて窓際に置いてください。



- 時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
- 受信中、時計を動かさないようにしてください。

### ●ご注意

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。  
※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

### 受信方法について

受信方法には、以下の2種類があります。

- 自動受信：1日最大6回
- 手動受信：必要なときに、ボタンを押して受信を行ないます

### 自動受信

- 下記の表中の各都市を、ホームタイム都市に設定(「ホームタイムデータ(時刻・カレンダーなど)の合わせ方」参照)しているときは、自動受信を行ないます。
- 時刻モードの時刻(「操作のしくみと表示の見方」参照)が下記の表中の自動受信開始時刻になると、1日最大6回、自動的に受信を行ないます。ただし、1日1回受信が成功すれば、それ以降、その日の自動受信は行ないません。

ホームタイム都市		自動受信開始時刻	
		1	2
TYO, HKG	スタンダードタイム	午前12時	午前1時
HNL, ANC, LAX, DEN, CHI, NYC	スタンダードタイム サマータイム	午前12時	午前1時
LON	スタンダードタイム	午前1時	午前2時
	サマータイム	午前2時	午前3時
PAR	スタンダードタイム	午前2時	午前3時
	サマータイム	午前3時	午前4時
ATH	スタンダードタイム	午前3時	午前4時
	サマータイム	午前4時	午前5時

また、自動受信開始時刻は、設定したホームタイム都市やサマータイム設定によって異なります。

- ※サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻(スタンダードタイム)から1時間進める夏時間制度のことです。
- サマータイムを採用していない国や地域があります。
- サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

自動受信開始時刻			
3	4	5	6
午前2時	午前3時	午前4時	午前5時
午前2時	午前3時	午前4時	午前5時
午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時
午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時
午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時
午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時
午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時
翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時	翌日午前3時

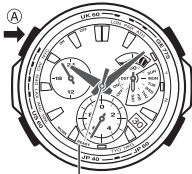
## ■ 手動受信

- 必要なときに、ボタンを押して受信を行ないます。受信に適した場所や環境で行なってください。また、受信中は時計を動かさしないでください。

時刻モードのとき

**Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます**

- インジケータース針が電波受信結果を表示後、確認音が鳴り、「READY」(または「R」)位置に移動します。



READY (またはR)

★ 受信を中止するときは

**いずれかのボタンを押します**

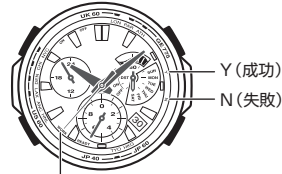
## ■ 受信中の状況表示について

### ● 受信開始

- インジケータース針が「READY」(または「R」)位置に移動します。
- ※時針、時針(24時間制)、分針は通常通り運針します。
- ※秒針は「0」位置で停止します。

### ● 受信中

- インジケータース針が「WORK」(または「W」)位置に移動します。
- ※時針、時針(24時間制)、分針は通常通り運針します。
- ※受信が完了するまで、時計を動かさしないでください。



WORK (またはW)

### ● 受信完了 (確認音が鳴ります)

- 受信が成功すると、インジケータース針が「Y」位置に移動し、1分後、修正された時刻に合わせて秒針が動き出します。
- 受信が失敗すると、インジケータース針が「N」位置に移動し、1分後、受信操作前の時刻に合わせて秒針が動き出します。

## ■ 受信結果の確認

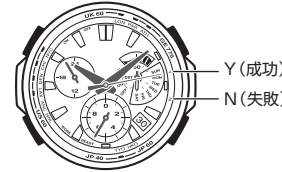
時刻モードのとき

**Ⓐ ボタンを押します**

- 受信確認モードになり、受信結果を表示します。受信が成功しているときはインジケータース針が「Y」(成功)を指し、受信が失敗しているときは「N」(失敗)を指します。

※時刻モードに戻すには、Ⓐ ボタンを1回押します。

※約5秒間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。



Y (成功)

N (失敗)

受信結果は受信ごとにリセットされます。

## ■ 受信に関するご注意

- ストップウォッチモードで計測中は、自動受信は行なわれません。
- 自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。
- 受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯(昼・夜)などによってうまく受信できないことがあります。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
- 本機は日本、アメリカ、イギリス、ドイツで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
- 電波受信を行なわないときは、平均月差±20秒以内の精度範囲で動きます。
- 極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
- 受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
- 本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

## ■ こんなときには

### 1. 電波が受信できません。

- 電波受信環境が悪い場所にいませんか。  
電波受信できる地域であっても電波が遮断されたり、発生するノイズにより受信しにくくなります。受信はこのような場所を避けて行ってください。(「ご注意」参照)
- 電波が受信できない地域にいませんか。  
電波受信ができる地域は、「電波の受信範囲の目安」をご覧ください。
- ホームタイム都市が正しく設定されていますか。  
「ホームタイムデータ(時刻・カレンダーなど)の合わせ方」をご覧ください。ホームタイム都市を正しく設定してください。
- 電波の送信が中断していませんか。  
電波時計が利用している標準電波は、保守作業や雷対策等で一時的に送信が中断されることがあります。

### 2. 電波を受信したのに、時報と時計の表示が若干ずれています。

- 電波時計は標準電波を受信して時刻修正を行ないませんが、時計内部の演算処理等により若干(1秒未満)のずれが発生します。

### 3. 電波を受信したのに、時刻がくるっています。

- ホームタイム都市が正しく設定されていますか。  
「ホームタイムデータ(時刻・カレンダーなど)の合わせ方」をご覧ください。ホームタイム都市を正しく設定してください。

★ 電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。

※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	AUTO	電波受信による自動切替え

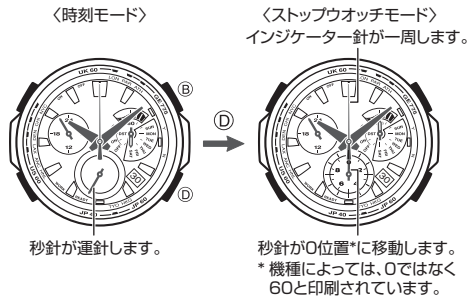
## ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは1/20秒単位で59分59秒95(60分計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

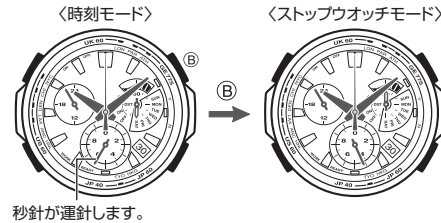
### ストップウォッチモードへの切替え方法

ストップウォッチモードに切り替えるには、2つの方法があります。

- 時刻モードのときに、**ⓓ** ボタンを押す  
ストップウォッチモードのリセット状態になります。  
**ⓑ** ボタンを押すと、ストップウォッチの計測が始まります。

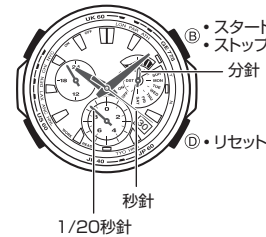


- 時刻モードのときに、**ⓑ** ボタンを押す  
**ⓑ** ボタンを押すと同時に計測が始まります。  
※1秒以内の計測は行なえません。  
※以下の状態のときは、時刻モードで**ⓑ** ボタンを押してもストップウォッチの計測が始まりません。
  - ・アラームがONに設定されているとき(アラームの使い方参照)
  - ・日付の更新中(23:59 59秒~更新が終わるまでの間)



## 計測のしかた

時刻モードまたはストップウォッチモードで行ないます。



- ※1/20秒針は、計測スタートまたは再スタート後の1分間のみ動きます。  
ストップ後は、計測値を表示します。
- ※計測中に**ⓓ** ボタンを押しても、リセットされます。

### <積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに**ⓑ** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

時刻モードに戻すには、ストップウォッチのリセット状態で**ⓓ** ボタンを押します。

## タイドグラフの使い方

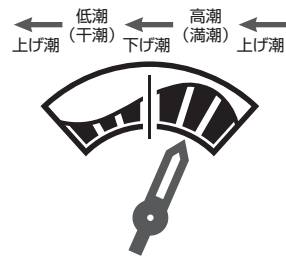
本機では、下記のように「潮の様子」をグラフで表現し、現在の状態を針の位置で示します。



「操作のしくみと表示の見方」にしたがい**ⓐ** ボタンを押して、タイドグラフモードに切り替えます。

**ご注意**

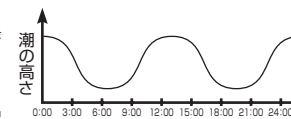
本機で表示される情報は、航海の用に供するものではありません。航海には必ず海上保安庁発行の潮汐表を使用してください。  
本機のタイドグラフ表示は、あくまで潮の満ち干きの様子を見る「目安」としてお使いください。



## タイドグラフについて

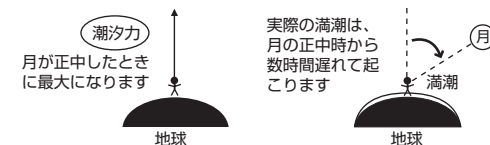
### ●潮汐(タイド)とは

地球上の海面は、約6時間ごとに高くなったり、低くなったりする昇降運動を繰り返しています。これは、潮汐(ちょうせき)と呼ばれ、主に月の引力に作用されて起こる現象です。



### ●月潮間隔について

理論上では、月が正中したとき(下図左)に高潮(満潮)になり、その約6時間後に低潮(干潮)になるといわれています。ただし、実際の地球上では、海水の粘性や摩擦、海底の地形などの影響によって正中時より遅れて高潮になります(下図右)。  
月が正中後、高潮になるまでの時間差を「高潮間隔」、低潮になるまでの時間差を「低潮間隔」と呼び、この2つを総称して「月潮間隔」といいます。「月潮間隔」は同じ国の中でも地域により異なります。なお、それぞれの地域(港)で、長期間に渡って調査した「高潮間隔」の平均値を「平均高潮間隔」といいます。



### ●本機のタイドグラフは

本機は、ホームタイム都市に設定している都市の経度、月の正中時間や月潮間隔などから潮の満ち干きの状態を算出して表示します。  
各都市コードに対応している月潮間隔対応都市名は「月潮間隔対応都市名一覧表」をご覧ください。  
なお、「潮の様子」を確認する前に、下記の操作を行なってください。

1. 「潮の様子」を確認したい場所に近い都市を、ホームタイム都市に設定する(「ホームタイムデータ(時刻・カレンダーなど)の合わせ方」参照)
2. 「潮の様子」を確認したい場所の満潮時刻を設定する(「満潮時刻を設定する」参照)

※日本海側および半月(小潮)のときは、潮汐現象がはっきり現われないため誤差が大きくなります。

## ■ 満潮時刻を設定する

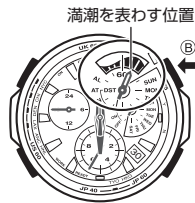
潮の満ち干きの状態を確認する前に、その場所の満潮時刻を設定してください。

### ● 満潮時刻が「現在の時刻」の場合

タイドグラフモードのとき

**ⓑ** ボタンを約2秒間押し続けます

→ 「現在の時刻」が満潮時刻に設定され、針が満潮を表わす位置に移動します。



### ● 満潮時刻が「現在の時刻」ではない場合

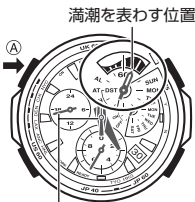
#### 1. セット状態にする

タイドグラフモードのとき

**Ⓐ** ボタンを約2秒間押しします

→ 満潮時刻を修正する状態になり、針が満潮を表わす位置に移動します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



時針、分針、時針(24時間制)は、現在設定されている満潮時刻を指し示します。

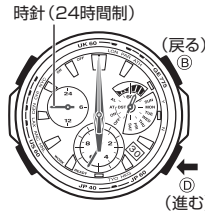
## 2. 満潮時刻を設定する

**Ⓐ** または **ⓑ** ボタンを押します

→ **Ⓐ** ボタンを押すごとに1分ずつ進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

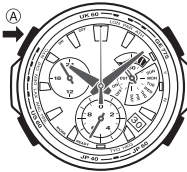
※ **Ⓐ**・**ⓑ** ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

※ 時を合わせるときは、時針(24時間制)にもご注意ください。



## 3. セットを終了する

**Ⓐ** ボタンを押します



## ● 満潮時刻を「初期値(工場出荷時の時刻)」に戻す

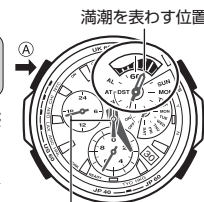
### 1. セット状態にする

タイドグラフモードのとき

**Ⓐ** ボタンを約2秒間押しします

→ 満潮時刻を修正する状態になり、針が満潮を表わす位置に移動します。

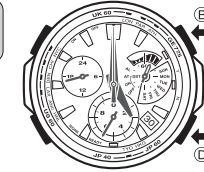
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



時針、分針、時針(24時間制)は、現在設定されている満潮時刻を指し示します。

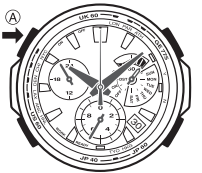
### 2. 満潮時刻を初期値に戻す

**Ⓐ** ボタンと **ⓑ** ボタンを同時に押しします



## 3. セットを終了する

時針、分針、時針(24時間制)が満潮時刻の初期値を指し示して運針を停止したら、**Ⓐ** ボタンを押します



## ■ 月潮間隔対応都市名一覧表

コード	時差	対応都市名	平均高潮間隔(時分)
GMT	+0.0	—	—
LON	+0.0	London	1:10
PAR	+1.0	Hamburg	4:50
ATH	+2.0	—	—
JED	+3.0	Jeddah	6:30
THR	+3.5	—	—
DXB	+4.0	Mauritius	0:50
KBL	+4.5	—	—
KHI	+5.0	Karachi	10:10
DEL	+5.5	—	—
DAC	+6.0	—	—
RGN	+6.5	—	—
BKK	+7.0	Bangkok	4:40
HKG	+8.0	Hongkong	9:10
TYO	+9.0	Tokyo	5:20

※この表は2006年6月現在作成のものです。  
 ※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

コード	時差	対応都市名	平均高潮間隔(時分)
ADL	+9.5	—	—
SYD	+10.0	Sydney	8:40
NOU	+11.0	Noumea	8:30
WLG	+12.0	Wellington	4:50
PPG	-11.0	Pago Pago	6:40
HNL	-10.0	Honolulu	0:10
ANC	-9.0	Anchorage	5:40
LAX	-8.0	Los Angeles	9:20
DEN	-7.0	Baja, California	8:40
CHI	-6.0	—	—
NYC	-5.0	Boston	11:20
CCS	-4.0	—	—
RIO	-3.0	Rio de Janeiro	3:10
-2.0	—	—	—
-1.0	—	—	—

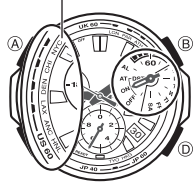
※「月潮間隔対応都市名」は本機に設定されている月潮間隔のデータに対応している都市名であり、「割り当てられている都市コードに該当する都市名」とは異なる場合があります。  
 ※月潮間隔対応都市の「月潮間隔に関するデータ」は、本機にあらかじめ設定されているものです。

## ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **ⓐ** ボタンを押し、ワールドタイムモードに切り替えます。

ワールドタイムモードでは、世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

選択都市コードの例



### ●ご注意

選択都市の時刻が合っていないときは、ホームタイム都市の設定を確認し、違っているときは正しく直してください。

※ホームタイム都市設定は「ホームタイムデータ（時刻・カレンダーなど）の合わせ方」をご覧ください。

## ■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

### ⓐ ボタンを押します

⇒ **ⓐ** ボタンを押すごとにインジケーター針が1都市ずつ進みます。

※ **ⓐ** ボタンを離してから1秒後に選択都市の時刻にかわります。

※ 選んだ都市の時刻を表示するために針が動いている間は、ボタンを押しても機能が動きません。



### ●ホームタイム都市の確認

**ⓐ** ボタンを押して選んだ都市がホームタイム都市の場合は、確認音が鳴ります。

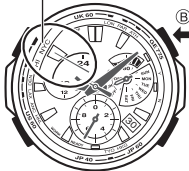
## 2. ホームタイム都市を入れ替える

### ⓐ ボタンを約2秒間押します

インジケーター針がNYCに移動

⇒ 確認音が鳴り、1.で選んだ都市（東京）がホームタイム都市になります。

※ 操作を行なう前のホームタイム都市（ニューヨーク）がワールドタイムモードの選択都市になり、ワールドタイムモードの時刻が修正されます。



### ●ご注意

日本でお使いの場合は、必ずホームタイム都市を「TYO」に設定してください。「TYO」でない場合は、電波受信ができなくなったり、時刻がずれたりします。

## ■サマータイムについて

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。

● サマータイムを採用していない国や地域があります。

● サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

### ● ON

サマータイムはONに設定されていて、スタンダードタイムより1時間進んでいます（夏時間）。

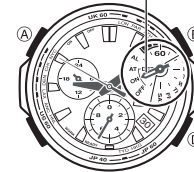
### ● OFF

サマータイムはOFFに設定されています（スタンダードタイム）。

## ●サマータイムのON / OFF 確認

ワールドタイムモードのとき

「ON」または「OFF」を指します



## ●サマータイムのON / OFF 設定

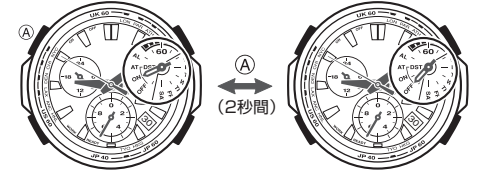
ワールドタイムモードのとき

### ⓐ ボタンを押して、設定したい都市を選びます

### ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ **ⓐ** ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON / OFF が切り替わります。

※ サマータイムは各都市ごとに設定することができます。ただし、「GMT」にはサマータイムの設定はできません。また、「ホームタイム都市」に設定されている都市のサマータイムの設定は、ワールドタイムモードでは行なえません。「ホームタイムデータ（時刻・カレンダーなど）の合わせ方」の「サマータイムを設定する」で操作を行なってください。



## ■ホームタイム都市との入れ替え

現在ワールドタイムモードで選んでいる都市を、ホームタイム都市と入れ替える（ホームタイム都市に設定する）ことができます。

例：ホームタイム都市をニューヨーク（NYC）から東京（TYO）に設定する。

	ホームタイム都市	ワールドタイムモードでの都市
操作前	ニューヨーク(NYC)	東京(TYO)
操作後	東京(TYO)	ニューヨーク(NYC)

## 1. 都市を選ぶ

ワールドタイムモードのとき

### ⓐ ボタンを押して、設定したい都市を選びます



TYOを選ぶ

## ■都市コード一覧表

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
GMT	+0.0	(グリニッジ標準時)	ADL	+9.5	アデレード
LON	+0.0	ロンドン	SYD	+10.0	シドニー
PAR	+1.0	パリ	NOU	+11.0	ヌーメア
ATH	+2.0	アテネ	WLG	+12.0	ウェリントン
JED	+3.0	ジェッダ	PPG	-11.0	パゴパゴ
THR	+3.5	テヘラン	HNL	-10.0	ホノルル
DXB	+4.0	ドバイ	ANC	-9.0	アンカレジ
KBL	+4.5	カブール	LAX	-8.0	ロサンゼルス
KHI	+5.0	カラチ	DEN	-7.0	デンバー
DEL	+5.5	デリー	CHI	-6.0	シカゴ
DAC	+6.0	ダッカ	NYC	-5.0	ニューヨーク
RGN	+6.5	ヤンゴン	CCS	-4.0	カラカス
BKK	+7.0	バンコク	RIO	-3.0	リオデジャネイロ
HKG	+8.0	香港			
TYO	+9.0	東京			

※この表は2006年6月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

※各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

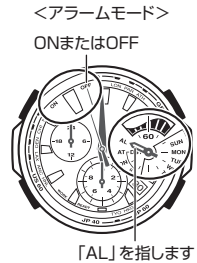
★2007年12月にCCS（カラカス）の時差が「-4.5」に変更になっていますが、本機では対応しておりません。「時差-4.0の地域」としてご使用ください。

## アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸ ボタンを押し、アラームモードに切り替えます。

アラームモードでは時分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。

- ※アラームはホームタイム都市の時刻に合わせて鳴ります。
- ※アラームモードで2~3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。



## ■ アラーム時刻のセット

例：午前6時にセットする。

### 1. セット状態にする

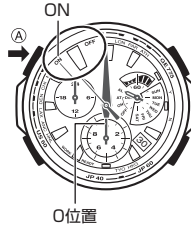
アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

- インジケータ針がONの位置に移動します。秒針が0位置\*に移動します。

\*機種によっては、0ではなく60と印刷されています。

- ※セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



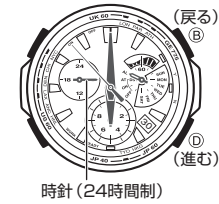
### 2. セットする

ⒹまたはⒺ ボタンを押します

- Ⓓ ボタンを押すごとに1分ずつ進み、Ⓔ ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

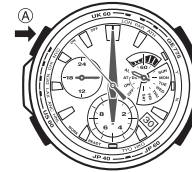
- ※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

- ※セットする時刻の午前と午後を間違えないように、ご注意ください。時針(24時間制)の位置をご確認ください。



### 3. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

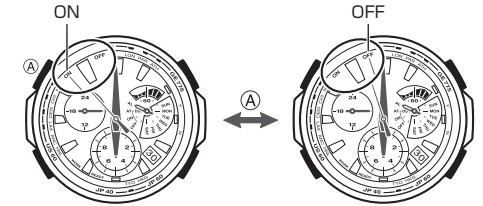


## ■ アラームのON / OFF

アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを押します

- Ⓐ ボタンを押すごとに、ON とOFF が切り替わります。※ON に切り替えたときは、確認音が鳴ります。



## ■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

## ホームタイムデータ (時刻・カレンダーなど) の合わせ方

ホームタイムデータ (お使いになる地域や都市、時刻、カレンダーなど) を設定します。

電波受信ができない場所で本機をお使いになる場合も、以下の操作で時刻や日付を合わせてください。

- ※ホームタイムデータの設定や修正は、時刻モードで行ないます。

### 1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約5秒間押します

- インジケータ針がホームタイム都市の都市コードの位置に移動し、秒針が0位置\*に移動します。

\*機種によっては、0ではなく60と印刷されています。



### 2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

- Ⓓ ボタンを押すごとにインジケータ針が1都市ずつ進みます。



- ※インジケータ針は電波受信結果を表示後、「READY」(または「R」)位置に移動し、さらに押し続けるとホームタイム都市の都市コードの位置に移動します。

- ※セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

### 3. サマータイムを設定する

Ⓔ ボタンを押します

- Ⓔ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



- AUTO(AT) 電波受信により、自動的にサマータイムのON/OFFが切り替わります。工場出荷時に LON/PAR/ATH/TYO/ANC/LAX/DEN/CHI/NYC に設定されています。※電波受信が行なえる都市 (LON/PAR/ATH/HKG/TYO/HNL/ANC/LAX/DEN/CHI/NYC) 以外の都市には設定できません。

- ON サマータイムはONになり、スタンダードタイムより1時間進みます (夏時間)。

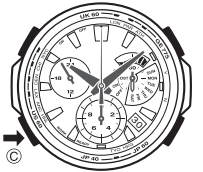
- OFF サマータイムはOFFになります (スタンダードタイム)。

- ※HKG、HNL、ANCの各都市は、受信機能対応都市としています。条件が良ければ受信する場合があります。

### 4. 「時分修正」にする

Ⓒ ボタンを押します

- 時分を修正する状態になります。



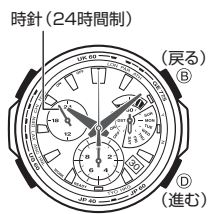
### 5. 時分を修正する

ⒹまたはⒺ ボタンを押します

- Ⓓ ボタンを押すごとに1分ずつ進み、Ⓔ ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

- ※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

- ※時を合わせるときは、時針(24時間制)にもご注意ください。

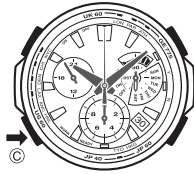




## 6. 「日付修正」にする

◎ボタンを押します

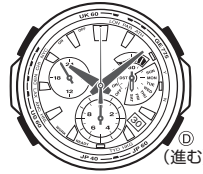
→日付を修正する状態になります。



## 9. 曜日を修正する

◎ボタンを押します

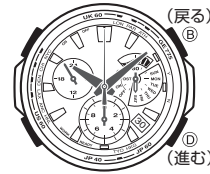
→◎ボタンを押すごとに1曜日ずつ進みます。



## 7. 日付を修正する

①または⑧ボタンを押します

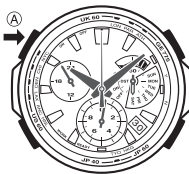
→①ボタンを押すごとに1日ずつ進み、⑧ボタンを押すごとに1日ずつ戻ります。



## 10. セットを終了する

Ⓐボタンを押します

→秒針が動き始め、セット状態が解除されます。  
※時報に合わせて押すと、正確に合わせられます。



日付は電波受信ができる場合はうるう年および小の月を自動修正します。電波受信ができない場合など、ご自身で時刻・日付を合わせる場合は、うるう年や小の月の月末にこの方法で日付を修正してください。

## 針の基準位置合わせ

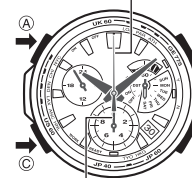
電波受信を行っても時刻が合っていないときは、以下の操作を行なって針位置を確認し、合っていないときは、針位置を合わせてください。なお、時刻が合っていないとき以外はこの操作を行わないでください。

### 1. 基準位置確認状態にする 時刻モードのとき

Ⓐボタンを押しながら  
◎ボタンを約2秒間押しします

→確認音が鳴り、インジケータ針と秒針が基準位置に移動します。

インジケータ針



秒針

〈基準位置〉  
インジケータ針：12時位置  
秒針：0位置\*

\*機種によっては、0ではなく60と印刷されています。

★インジケータ針と秒針が基準位置にある場合は、手順3.に進みます。

※針の基準位置確認状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

### インジケータ針と秒針がずれている場合

#### 2. 基準位置を合わせる

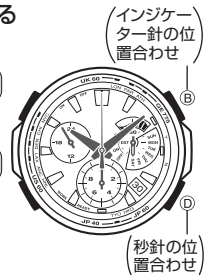
インジケータ針の場合は

Ⓒボタンを押します

秒針の場合は

◎ボタンを押します

→針が時計回りで回転しますので、基準位置に合わせます。

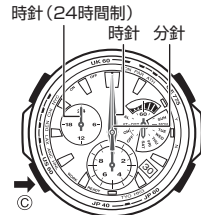


## 3. 時・分針と時針（24時間制）を確認する

◎ボタンを押します

→時・分針と時針（24時間制）が基準位置に移動します。

〈基準位置〉  
時針：12時位置  
分針：12時位置  
時針（24時間制）：24時位置

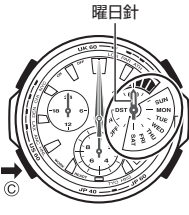


## 5. 曜日針を確認する

◎ボタンを押します

→曜日針が基準位置に移動します。

〈基準位置〉  
曜日針：60位置



★曜日針が基準位置にある場合は、手順7.に進みます。

★時・分針と時針（24時間制）が基準位置にある場合は、手順5.に進みます。

### 時針と分針がずれている場合

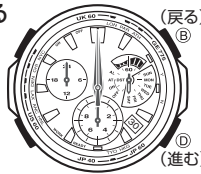
#### 4. 基準位置を合わせる

①または⑧ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに進み、⑧ボタンを押すごとに戻ります。

※①・⑧ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

※時針（24時間制）は時・分針に連動して動きます。



#### 曜日針がずれている場合

#### 6. 基準位置を合わせる

①または⑧ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに進み、⑧ボタンを押すごとに戻ります。

※①・⑧ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

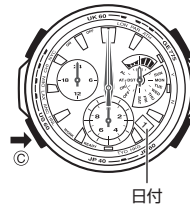


## 7. 日付を確認する

◎ボタンを押します

→日付が基準位置に移動します。

〈基準位置〉  
日付：1日



★日付が基準位置にある場合は、手順9.に進みます。

### 日付がずれている場合

#### 8. 基準位置を合わせる

①または⑧ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに進み、⑧ボタンを押すごとに戻ります。

※①・⑧ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

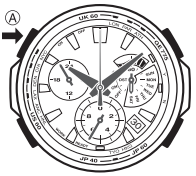


## 9. 基準位置合わせを終わる

Ⓐボタンを押します

→時刻モードに戻り、通常の時刻を表示します。

※Ⓐボタンを押す前に◎ボタンを押すと、最初のインジケータ針と秒針の基準位置確認に戻ります。



針の基準位置合わせが終了したら、電波を受信しやすい場所で「手動受信」を行ない、時刻情報を受信してください。  
※手動受信の方法については、「手動受信」をご覧ください。